

## 鎌ヶ谷市消防のあゆみ

昭和 9年 9月	鎌ヶ谷村に公設消防組を設立 本部及び11部として組員550名 初代組頭に鈴木利氏就任
昭和14年 4月	警防団令公布により消防組と防護団を統合し警防団とする。 本部及び8ヶ分団、団員500名 初代団長に葛山長一氏就任
昭和22年 9月	鎌ヶ谷村消防団を結成 本部及び8ヶ分団、団員486名 初代団長に小金谷喜一氏就任
昭和22年12月	消防組織法公布により自治体消防制度が確立された。
昭和26年 5月	小・中学校に貯水池を設置
昭和27年 1月	2代消防団長に皆川覚蔵氏就任
昭和30年 1月	3代消防団長に鈴木勘一氏就任
昭和30年 2月	小型動力ポンプを購入し役場内に配置 本部団員10名を任命し役場内に配置
昭和30年 3月	千葉県知事優良竿頭綬を受賞
昭和30年 5月	4代消防団長に山寄雄一氏就任
昭和31年 2月	小型動力ポンプを購入し第1、第2分団に配置
昭和32年 1月	小型動力ポンプを購入し第3、第4分団に配置
昭和32年 2月	消防団組織を改正し、団員283名とする。
昭和33年 3月	小型動力ポンプを購入し第5、第6分団に配置
昭和33年 8月	町制を施行し、鎌ヶ谷町消防団とする。
昭和34年 2月	小型動力ポンプを購入し第7、第8分団に配置
昭和35年 3月	千葉県消防協会表彰旗を受賞
昭和35年12月	消防ポンプ自動車を購入する。
昭和36年 3月	千葉県知事優良表彰旗を受賞
昭和37年 3月	日本消防協会竿頭綬を受賞
昭和40年 8月	消防ポンプ自動車を購入する。
昭和41年 1月	水槽付消防ポンプ自動車を購入する。
昭和42年 1月	消防団組織を改正し、団員186名とする。
昭和43年12月	消防庁舎建設を前提として用地1,112.9㎡を借入
昭和44年 2月	日本消防協会表彰旗を受賞

昭和44年	4月	消防組織法に基づく政令指定を受ける。
昭和44年	7月	鎌ヶ谷町消防本部・署庁舎起工式 初代消防長（事務取扱）に助役徳田雄之助氏就任
昭和45年	1月	消防団組織を改正し、団員166名とする。 消防署業務を開始 日本自動車工業会より救急車を寄贈される。
昭和45年	1月	鎌ヶ谷町消防本部・署庁舎落成 2代消防長（事務取扱）に町長飯田毅氏就任
昭和45年	4月	消防本部、署、職員24名で発足、条例定数は52名
昭和45年	12月	消防ポンプ自動車、化学消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置
昭和46年	9月	市制を施行し、鎌ヶ谷市消防本部・消防署・鎌ヶ谷市消防団とする。
昭和47年	3月	千葉県知事優秀表彰旗を受賞
昭和47年	10月	大成建設株式会社より梯子付消防ポンプ自動車（18m）を寄贈され、消防署へ配置
昭和47年	12月	消防ポンプ自動車を2台購入し第2、第5分団に配置
昭和48年	4月	3代消防長に尾白喜平氏就任
昭和48年	10月	消防団に消防ポンプ自動車を2台購入し第3、第4分団に配置
昭和48年	11月	消防救助隊を、12名で兼任編成
昭和49年	2月	水槽付消防ポンプ自動車を更新し消防署に配置
昭和49年	3月	消防職員定数条例改正61名
昭和49年	7月	消防本部に通信指令室を設置
昭和49年	9月	第3回消防救助技術関東地区指導会（会場：横浜市）で高所人命救助入賞 第3回全国消防救助技術大会（会場：横浜市）で高所人命救助入賞
昭和49年	11月	山之内製薬より救急車を寄贈され消防署に配置
昭和49年	12月	消防ポンプ自動車を3台購入し第6、第7、第8分団に配置 渡辺鉄工所より救急車を寄贈され消防署に配置
昭和50年	3月	消防職員定数条例改正71名
昭和50年	5月	消防本部に課制を敷き、庶務課、予防課の2課とする。
昭和50年	6月	救助訓練塔完成（地上高17m）
昭和50年	11月	消防ポンプ自動車を購入し第1分団に配置 鎌ヶ谷市危険物安全協会より査察車を寄贈され予防課に配置
昭和51年	5月	関口工務店より赤バイを寄贈され消防署に配置
昭和51年	8月	第5回消防救助技術関東地区指導会（会場：千葉市）で高所人命救助入賞
昭和52年	8月	第6回消防救助技術関東地区指導会（会場：横浜市）にはしご登はん出場

昭和52年	9月	消防職員定数条例改正81名
昭和53年	1月	鎌ヶ谷市消防署くぬぎ山分署を開署し、職員19名で発足 消防本部、消防署、くぬぎ山分署の体制となる。
昭和53年	2月	イトーヨーカ堂鎌ヶ谷店より小型化学車を寄贈され消防署に配置 通信指令室に消防緊急通信指令装置を導入し、運用開始 (沖電気PD1007Ⅱ型) 通信指令室に消防団召集用無線サイレン吹鳴装置を導入し運用を開始
昭和53年	3月	日本損害保険協会より救急車を寄贈され消防署に配置
昭和53年	4月	地震体験車を購入、「なまず号」と命名し予防課に配置
昭和53年	5月	事務連絡車を購入し庶務課に配置
昭和53年	8月	第7回消防救助技術関東地区指導会(会場:千葉市)にロープ登はん出場
昭和53年	10月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車を買贈され、くぬぎ山分署に配置 消防職員定数条例改正93名
昭和53年	11月	災害時の飲料水確保のため、災害用ろ水器を2基購入し消防署及びくぬぎ山分署に配置
昭和54年	5月	指揮車を購入し、くぬぎ山分署に配置
昭和54年	6月	5代消防団長に小菅進氏就任 団長、副団長の任期を4年とする。 消防団組織を改正し、方面隊体制を施行 第1分団・第2分団・第3分団を第1方面隊、第4分団・第5分団を第2方面隊、第6分団・第7分団・第8分団を第3方面隊とする。
昭和54年	9月	通信指令室に地図検索装置を導入
昭和54年	12月	化学消防ポンプ自動車を更新し消防署に配置
昭和55年	5月	消防音楽隊28名で発足
昭和55年	8月	通信指令室に総合気象観測装置を導入 日本消防協会より指令車を寄贈され消防署に配置
昭和55年	11月	鎌ヶ谷市消防本部・署発足10周年を記念して第1回消防フェスティバルを開催
昭和55年	12月	消防ポンプ自動車を更新し消防署に配置 救助工作車(照明、クレーン、フロントウインチ装備)を購入し消防署に配置 消火薬剤搬送車を購入し消防本部に配置 消防職員定数条例改正96名
昭和56年	3月	消防庁長官より竿頭綬を受賞
昭和56年	7月	第10回消防救助技術関東地区指導会(会場:横浜市)ではしご登はん入賞
昭和56年	10月	消防団全員に制服を購入

昭和56年11月	消防署に非常電源装置を設置
昭和56年12月	消防音楽隊に制服を購入
昭和57年 3月	救急車を更新し消防署に配置
昭和57年 7月	第11回消防救助技術関東地区指導会（会場：横浜市）でロープ応用登はん入賞
昭和57年 8月	第11回全国消防救助技術大会（会場：横浜市）でロープ応用登はん入賞
昭和57年 9月	人員輸送車を購入し庶務課に配置
昭和57年10月	日本消防協会より、軽可搬消防ポンプを寄贈され、鎌ヶ谷橋自治会婦人消防隊に配置
	指令車を購入し、消防本部に配置
昭和58年 3月	第5分団詰所を新築（建替）する。
昭和58年 4月	鎌ヶ谷市少年婦人防火委員会を結成
昭和58年 7月	第12回消防救助技術関東地区指導会（会場：埼玉県吹上町）でロープ応用登はん入賞
昭和58年 8月	社団法人千葉県消防設備保守協会より広報車を寄贈され予防課に配置
	日本消防協会より、軽可搬消防ポンプを2台寄贈され、東武団地自治会婦人消防隊及び浅間自治会婦人消防隊に配置
	第12回全国消防救助技術大会（会場：大阪市）でロープ応用登はん入賞
昭和59年 4月	4代消防長に青木好一氏就任
昭和59年 8月	日本消防協会より、軽可搬消防ポンプを3台寄贈され鎌ヶ谷駅前自治会、新山自治会及びグリーンハイツ自治会婦人消防隊に配置
	第13回消防救助技術関東地区指導会（会場：千葉市）でロープ応用登はん入賞
	第13回全国消防救助技術大会（会場：名古屋市）でロープ応用登はん入賞
昭和59年12月	水槽付消防ポンプ自動車を更新し、くぬぎ山分署に配置
昭和60年 3月	鎌ヶ谷市婦人消防隊が、日本消防協会より表彰旗を受賞
昭和60年 4月	千葉県防災行政無線端末機を設置
	緊急連絡用ファクシミリを設置
昭和60年 8月	日本消防協会より、軽可搬消防ポンプを寄贈され鎌ヶ谷グリーンタウン自治会婦人消防隊に配置
昭和60年10月	鎌ヶ谷市消防本部・署発足15周年を記念して第2回消防フェスティバルを開催
	第1回全国婦人消防操法大会に千葉県代表として浅間婦人消防隊が出場
昭和60年11月	日本防火協会より、防火広報車を寄贈され防火号と命名し予防課に配置
昭和61年 1月	鎌ヶ谷市婦人消防隊旗を作成
昭和61年 4月	鎌ヶ谷市消防本部・署の組織を改正
	庶務課を総務課に改め、消防署に係制を敷く

昭和61年	7月	日本消防協会より救急車を寄贈され消防署に配置 緊急用ブレスレット制度運用開始 救急車に自動車専用電話を設置 第15回消防救助技術関東地区指導会（会場：東京都世田谷区）でロープ応用登はん入賞	
昭和61年	8月	千葉県防災フェアに浅間婦人消防隊が出場し演技を披露 第15回全国消防救助技術大会（会場：神戸市）でロープ応用登はん入賞	
昭和62年	1月	くぬぎ山分署に非常電源装置を設置	
昭和62年	3月	消防庁長官より表彰旗を受賞 鎌ケ谷市婦人防火クラブ連絡協議会が、千葉県防火委員会表彰を受賞	
昭和62年	6月	6代消防団長に川上啓之氏就任 日本消防協会より軽可搬消防ポンプを寄贈され道野辺第2自治会婦人消防隊に配置	
昭和62年	8月	くぬぎ山分署の塗装及び外壁を補修	
昭和62年	10月	消防ポンプ自動車を更新し第2、第5分団に配置	
昭和63年	2月	資材搬送車を購入し、消防本部に配置	
昭和63年	4月	5代消防長に塩田満氏就任 事務連絡車を更新し、消防本部に配置	
昭和63年	7月	第17回消防救助技術関東地区指導会（会場：横浜市）でロープ応用登はん入賞	
昭和63年	8月	第17回全国消防救助技術大会（会場：横浜市）にてロープ応用登はん入賞	
昭和63年	10月	消防ポンプ自動車を2台更新し第3、第4分団に配置	
平成	元年	2月	消防ポンプ自動車を更新し、くぬぎ山分署に配置
平成	元年	3月	鎌ケ谷市消防表彰式を挙行 救急車を更新し、消防署に配置
平成	元年	7月	第18回消防救助技術関東地区指導会（会場：大宮市）でロープ応用登はん入賞
平成	元年	9月	指揮車を更新し、くぬぎ山分署に配置
平成	元年	10月	消防ポンプ自動車を2台更新し第6、第7分団に配置 消防本部及び消防署合同庁舎防水工事を実施
平成	2年	4月	鎌ケ谷市職員定数条例改正、消防職員定数118名（市の定数条例に統合）
平成	2年	7月	第19回消防救助技術関東地区指導会（会場：川崎市）でロープ応用登はん入賞
平成	2年	8月	第19回全国消防救助技術大会（会場：広島市）でロープ応用登はん入賞
平成	2年	9月	消火薬剤搬送車を購入し、消防本部に配置
平成	2年	10月	消防本部及び消防署合同庁舎敷地を購入
平成	2年	11月	消防ポンプ自動車を2台更新し第1、第8分団に配置

平成	3年	1月	第1分団詰所及び第4分団詰所を移転新築する。
平成	3年	3月	30m級梯子車を更新し、消防署に配置
平成	3年	10月	第3回消防フェスティバル（会場：市陸上競技場）を市制20周年記念として市役所企画課と共催
平成	3年	11月	指揮車を更新し、消防署に配置
平成	3年	12月	消防ポンプ自動車を更新し、消防署に配置
平成	4年	3月	救急車更新し、くぬぎ山分署に配置 第8分団詰所を移転新築する。
平成	4年	4月	6代消防長に菅原正己氏就任 篤志家から事務車（ニッサンE-32）を寄贈され総務課に配置
平成	4年	9月	ライオンズクラブから査察車を寄贈され予防課に配置
平成	5年	1月	鎌ヶ谷市消防本部・署の組織を改正 消防本部に警防課を新設し、総務課、予防課、警防課の3課体制となる。 消防署に、警備第一課、警備第二課を新設し2課体制となる。 消防署に右京塚連絡所を開設
平成	5年	2月	ロータリークラブから屋外用放送装置を寄贈され消防本部に配置
平成	5年	3月	救急車を更新し、消防署に配置 第2分団詰所を移転新築する。
平成	5年	4月	鎌ヶ谷市消防署の組織を改正 消防署を中央消防署に、くぬぎ山分署をくぬぎ山消防署に改め2署体制となる。
平成	5年	7月	第22回消防救助技術関東地区指導会（会場：横浜市）にロープ応用登はん出場
平成	5年	11月	化学消防ポンプ自動車を更新し、中央消防署に配置
平成	6年	4月	7代消防長に益田光氏就任 鎌ヶ谷市職員定数条例改正、消防職員定数154名
平成	6年	7月	第23回消防救助技術関東地区指導会（会場：大宮市）でロープ応用登はん入賞
平成	6年	12月	査察車を購入し、予防課に配置
平成	7年	3月	第6分団詰所を移転新築する。
平成	7年	6月	7代消防団長に中臺照男氏就任 団長、副団長の任期を2年とする。
平成	7年	7月	第24回消防救助技術関東地区指導会（会場：厚木市）にはしご登はん出場
平成	7年	9月	社団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車を寄贈され、くぬぎ山消防署に配置
平成	8年	2月	救助工作車を更新し、中央消防署に配置
平成	8年	7月	第25回消防救助技術関東地区指導会（会場：東京都江東区）でロープ応用

		登はん、はしご登はん入賞
平成 9年	2月	指令車を購入し、総務課に配置 水槽付消防ポンプ自動車を購入する。
平成 9年	4月	鎌ヶ谷消防署を開署し職員25名で発足。3署体制となる。
平成10年	1月	指揮車を購入し、鎌ヶ谷消防署に配置
平成10年	3月	第3分団詰所を移転新築する。
平成10年	4月	消防緊急通信指令施設の更新 鎌ヶ谷市消防本部の位置を初富928番地472とする。 鎌ヶ谷市消防本部、署の組織を改正 消防本部に通信指令課を新設し、総務課、予防課、警防課、通信指令課の4課体制となる。 中央消防署の警備第一課、警備第二課を廃止する。
平成11年	2月	救急車を更新し、鎌ヶ谷消防署に配置
平成11年	4月	8代消防長に吉村祇彦氏就任
平成11年	6月	8代消防団長に鈴木定夫氏就任
平成11年	7月	第28回消防救助技術関東地区指導会(会場:横浜市)ではしご登はん入賞
平成11年	12月	指揮車を購入し、中央消防署に配置
平成12年	2月	高規格救急車を更新し、中央消防署に配置
平成12年	3月	水槽付消防ポンプ自動車を更新し、くぬぎ山消防署に配置 第7分団詰所を移転新築する。
平成12年	7月	第29回消防救助技術関東地区指導会(会場:戸田市)でロープブリッジ渡過入賞 救急救命士運用開始
平成12年	8月	第29回全国消防救助技術大会(会場:熊本市)でロープブリッジ渡過入賞
平成12年	9月	人員輸送車を更新し、総務課に配置
平成12年	11月	消火薬剤搬送車を更新し、警防課に配置
平成13年	2月	消防ポンプ自動車を購入し、鎌ヶ谷消防署に配置
平成13年	4月	9代消防長に久野義春氏就任
平成13年	10月	第5分団詰所移転に伴う用地を購入
平成13年	11月	市制30周年記念第4回消防フェスティバル(会場:市役所駐車場)を開催
平成14年	2月	化学防護服2着を購入し、中央消防署に配置 消防ポンプ自動車を更新し、第2分団に配置
平成14年	7月	第31回消防救助技術関東地区指導会(会場:千葉市)でロープ応用登はん、はしご登はん入賞
平成14年	8月	第31回全国消防救助技術大会(会場:名古屋市)ではしご登はん入賞

平成14年10月	10代消防長に大高勇治氏就任 消防ポンプ自動車を更新し、第5分団に配置
平成14年12月	高規格救急車を更新し、くぬぎ山消防署に配置 第5分団詰所を移転新築する。
平成15年 4月	鎌ヶ谷市消防本部、署の組織を改正 消防本部通信指令課を廃止し、通信業務を鎌ヶ谷消防署所管とする。
平成15年 5月	消防本部移転に伴う用地及び建物を購入
平成15年 7月	第22回（財）千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会（会場：松戸市）で 第4分団がポンプ車の部最優秀賞 第38回千葉県消防操法大会（会場：千葉市）に第4分団がポンプ車の部に出場 第32回消防救助技術関東地区指導会（会場：神奈川県横浜市）でロープブリッジ渡過入賞
平成15年 9月	資材搬送車を購入し、中央消防署、くぬぎ山消防署に配置 消防ポンプ自動車を更新し、第3分団、第4分団に配置
平成15年10月	消防本部を右京塚10番12号に移転
平成15年12月	消防ポンプ自動車を更新し、中央消防署に配置
平成16年 7月	第33回消防救助技術関東地区指導会（会場：厚木市）でロープブリッジ渡過入賞
平成16年10月	消防ポンプ自動車を更新し、第6分団、第7分団に配置
平成16年11月	11代消防長に山影裕宏氏就任
平成17年 1月	高規格救急車を更新し、中央消防署に配置
平成17年 4月	鎌ヶ谷市消防署の組織を改正 鎌ヶ谷消防署の通信第一係、通信第二係を統合し鎌ヶ谷消防署通信指令室を設置
平成17年 6月	9代消防団長に山田静雄氏就任
平成17年 7月	第34回消防救助技術関東地区指導会（会場：岩槻市）ではしご登はん入賞
平成17年 8月	第34回全国消防救助技術大会（会場：岩槻市）ではしご登はん入賞
平成17年10月	消防ポンプ自動車を更新し、第1分団、第8分団に配置
平成17年11月	中央消防署庁舎耐震診断委託を実施
平成17年12月	指揮広報車を更新し、警防課に配置
平成18年 4月	12代消防長に松原正一氏就任
平成18年12月	指揮車を更新し、くぬぎ山消防署に配置
平成19年 2月	高規格救急車を更新し、鎌ヶ谷消防署に配置
平成19年 4月	10代消防団長に三橋幸夫氏就任



平成19年 5月	事務車及び査察車を更新し、消防本部に配置
平成19年11月	中央消防署耐震改修工事を実施
平成20年 1月	消防職員による音楽隊を、市民参加型によるボランティア消防音楽隊に移行
平成20年 4月	鎌ケ谷市消防本部、署の組織及び階級制度を改正。勤務体制を2部制から3部制に移行
平成20年11月	第30回千葉県消防音楽隊フェスティバル（会場：鎌ケ谷市）を開催 消防ポンプ自動車を更新し、くぬぎ山消防署に配置
平成20年12月	屈折はしご付き消防自動車を更新し、中央消防署に配置
平成21年 3月	くぬぎ山消防署庁舎耐震診断委託を実施
平成21年 4月	13代消防長に皆川保則氏就任 初の女性消防吏員を採用
平成22年 1月	救助工作車を更新し、中央消防署に配置
平成22年 2月	高規格救急車を更新し、くぬぎ山消防署に配置
平成22年 4月	11代消防団長に澁谷誠幸氏就任
平成22年 6月	第29回（財）千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会（会場：鎌ケ谷市） で第1分団がポンプ車の部優秀賞
平成22年 7月	第46回千葉県消防操法大会（会場：千葉市）に第1分団がポンプ車の部に 出場 第39回消防救助技術関東地区指導会（会場：厚木市）で引き揚げ救助入賞
平成22年 8月	第39回全国消防救助技術大会（会場：京都市）で引き揚げ救助入賞
平成22年12月	火災原因調査車を更新し、予防課に配置
平成23年 3月	化学消防ポンプ自動車を更新し、中央消防署に配置 緊急消防援助隊の千葉県隊として第1次、第2次、第8次、第9次隊に 12隊36名を岩手県陸前高田市及び福島県福島市に派遣
平成23年 4月	松戸市ほか5市消防指令事務協議会設置 （構成市：松戸市、市川市、野田市、流山市、鎌ケ谷市、浦安市）
平成23年11月	消防本部庁舎耐震診断委託を実施
平成23年12月	高規格救急車を購入し、中央消防署に配置
平成24年 3月	水槽付消防ポンプ自動車を更新し、鎌ケ谷消防署に配置 消防車両リサイクル事業の一環として、水槽付消防ポンプ自動車を岩手県 陸前高田市消防本部へ寄贈
平成24年 4月	14代消防長に川島正二郎氏就任
平成24年 9月	救助隊を特別救助隊に移行
平成24年12月	くぬぎ山消防署建替えに伴う用地購入

平成25年	4月	千葉県域1ブロックでの消防救急無線が開始され、アナログ無線からデジタル無線へ移行 千葉北西部消防指令センター（6市）の運用開始
平成26年	2月	高規格救急車を更新し、鎌ヶ谷消防署に配置
平成27年	1月	指令車を更新し消防総務課に配置
平成27年	2月	消防本部新庁舎へ機能移転 資機材搬送車を購入し、警防課に配置 指揮車を更新し、中央消防署に配置 指揮車を更新し、鎌ヶ谷消防署に配置 事務車を更新し、消防総務課に配置
平成27年	3月	くぬぎ山消防署新庁舎へ機能移転
平成27年	4月	15代消防長に皆川宏幸氏就任 12代消防団長に川上英明氏就任 消防団員定数の改正177名 初の女性消防団員11名を採用し、消防団本部に女性部を設置
平成27年	7月	屈折はしご付き消防自動車のオーバーホールを実施
平成28年	2月	高規格救急車を更新し、中央消防署に配置
平成28年	3月	消火薬剤搬送車を更新し、警防課へ配置
平成28年	8月	松戸市ほか9市消防指令事務協議会設置 (構成市：松戸市、市川市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市)
平成29年	3月	水槽付消防ポンプ自動車を更新し、くぬぎ山消防署に配置
平成29年	4月	16代消防長に鈴木信彦氏就任
平成29年	12月	高規格救急車を更新し、中央消防署に配置
平成30年	2月	中央消防署外壁改修工事を実施
平成30年	3月	鎌ヶ谷市婦人防火クラブ連絡協議会が、(一財)日本防火・防災協会会長表彰を受賞
平成31年	2月	消防ポンプ自動車を更新し、中央消防署に配置 消防ポンプ自動車を更新し、鎌ヶ谷消防署に配置
平成31年	4月	17代消防長に松本禎久氏就任
令和2年	1月	消防ポンプ自動車を更新し、第2分団に配置
令和2年	2月	人員搬送車を更新し、消防総務課に配置
令和2年	12月	資機材搬送車を更新し、中央消防署に配置
令和3年	1月	高規格救急車を更新し、くぬぎ山消防署に配置

令和	3年	1月	指揮広報車を更新し、警防課に配置
令和	3年	2月	ちば北西部消防指令センター（10市）の運用開始
令和	3年	3月	消防ポンプ自動車を更新し、第5分団に配置
令和	3年	8月	資機材搬送車を更新し、くぬぎ山消防署に配置
令和	3年	12月	鎌ヶ谷消防署外壁等改修工事を実施
令和	4年	1月	消防ポンプ自動車を更新し、第3分団に配置
令和	4年	6月	第47回消防救助技術千葉県大会でロープブリッジ渡過入賞 屈折はしご付き消防自動車のオーバーホールを実施
令和	5年	1月	消防ポンプ自動車を更新し、第4分団に配置
令和	5年	2月	高規格救急車を更新し、中央消防署に配置
令和	5年	4月	18代消防長に矢ノ目健二氏就任 13代消防団長に飯田喜治氏就任
令和	5年	5月	第48回消防救助技術千葉県大会でロープブリッジ渡過優勝及び入賞 同大会でロープ応用登はん入賞
令和	5年	8月	第51回全国消防救助技術大会（会場：札幌市）でロープブリッジ渡過入賞
令和	6年	1月	高規格救急車を更新し、鎌ヶ谷消防署に配置 消防ポンプ自動車を更新し、第7分団に配置
令和	6年	2月	鎌ヶ谷市少年消防クラブが消防庁長官賞を受賞 中央消防署資機材備蓄倉庫が完成
令和	6年	3月	指揮車を更新し、くぬぎ山消防署に配置